

# 避難行動の考え方(避難のタイムライン)

いざという時に行動できるよう家族や地域で事前に話し合っておきましょう

## step 1 地図面(裏面)で浸水状況を確認します

自宅、職場、学校など自分や家族がよく行く場所の浸水深を確認しましょう。

あなたの居場所はどのくらい浸水する?

**5.0m以上の浸水**

- 2階以上が浸水します。
- 水流が強い場合は木造家屋が流失する場合があります。

**3.0m～5.0m未満の浸水**

- 2階が浸水します。
- 垂直避難ができない水位です。
- 水流が強い場合は木造家屋が流失する場合があります。

**1.0m～3.0m未満の浸水**

- 1階が浸水します。
- 天井高が低い建物は2階も浸水します。

**0.5m～1.0m未満の浸水**

- 1階が浸水します。
- 歩くことができなくなる水位です。

**0.5m未満の浸水**

- 床下が浸水します。
- 歩行は危険です。
- 水圧でドアが開かなくなります。

**注意**  
土砂災害警戒区域・特別警戒区域と重複している場合は、浸水の深さに関わらず立退き避難をしてください。

## step 2 どこに避難するのかを決めます

安全な避難先を決め、経路や移動手段も考えておきましょう。

**絶対**に避難する

500m  
歩くのにかかる時間  
成人男性 約6分  
成人女性 約8分  
高齢者 約10分

時間と安全な避難経路が確保できれば必ず避難する

逃げ遅れても必ず避難する

逃げ遅れても必ず避難する

むやみに移動しない

**浸水しない安全な場所へ**  
(指定緊急避難場所、親戚の家、高台、高い建物、ホテル・宿泊施設など)

■立退き避難

- 浸水が始まる前に移動し安全を確認
- 安全が確保できる場所であれば、避難場所にこだわらず避難してください。
- 動きやすい服装で避難してください。
- 避難時に配慮が必要な方は、協力し合って避難しましょう。

**建物の2階以上、または、危険のない近くの高い建物へ**

■垂直避難

浸水深より高い位置にお住いの方は、その場で待機したり更に上階へ避難しましょう。避難後も気象・防災情報を確認し、以下の事項に十分注意してください。

避難後の注意事項

- 電力設備の浸水による急な停電
- 周囲の浸水による上下水道の使用不可
- 外出が不可能になり食料品などが不足

■緊急安全確保

急激な降雨や浸水により屋外への移動が危険な状態になった場合は、無理に移動せず、近くにある高い建物へ一時避難し救助を待ちください。

**むやみに移動せず屋内で安全を確保**

■屋内安全確保

- 夜間で視界が悪い
- 周辺の道路が浸水している
- 雨足が強くと外に出ることが危険

■家での備えが必須!

日頃から家の点検や備蓄品などを備えておきましょう。

## step 3 いつ避難するのかを決めます

気象庁や市から発信される情報や、避難にかかる時間などを参考に、避難行動を開始するタイミングを考えておきましょう。

**気象庁が発表**

レベル2大雨注意報  
大雨による浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。

レベル3大雨警報  
大雨による重大な浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。

レベル4大雨危険警報  
危険な場所にいる住民全員が速やかに避難すべき状況であると予想したときに発表されます。

レベル5大雨特別警報  
警報の発表基準をはるかに超える大雨が予想され、重大な災害の起こるおそれが高まっている場合に発表されます。

※佐波川については気象情報の発表基準が異なります。ご注意ください。

**避難情報**

住民がとるべき行動

警戒レベル2  
今後の気象情報に注意し避難行動を確認  
避難行動や非常持出品、備蓄品などを確認し、状況に応じて対応できるようにしておきましょう。

**防府市が発令**

警戒レベル3 高齢者等避難  
避難に時間がかかる方は避難開始

警戒レベル4 避難指示  
危険な場所から全員避難

警戒レベル5 緊急安全確保  
命の危険! だちに安全確保!

お年寄りなど、移動に時間がかかる人は、危険な場所から速やかに避難しましょう。

危険な場所にいる場合は、速やかに立退き、安全が確保できる場所へ避難しましょう。

何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況です。無理に動かず安全を確保しましょう。

**警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難!**

緊急時でもスムーズに避難行動がとれるよう家庭や地域で「避難訓練」を実施しましょう

**(参考) 雨の強さと降り方**

**強い雨** 1時間に20mm以上～30mm未満

人への影響  
●どしゃ降りの雨。  
●傘をさしていてもぬれる。

周囲の状況  
●周囲の音が聞き取れない。  
●地面一面に水たまりができる。

**激しい雨** 1時間に30mm以上～50mm未満

人への影響  
●バケツをひっくり返したように降る。

周囲の状況  
●道路が川のようなになる。  
●車のブレーキが効きにくくなる。

**非常に激しい雨** 1時間に50mm以上～80mm未満

人への影響  
●滴のように降り、傘は全く役に立たなくなる。

周囲の状況  
●水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。

**猛烈な雨** 1時間に80mm以上

人への影響  
●息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。

周囲の状況  
●雨による大規模災害のおそれが高く、厳重警戒が必要。

# 洪水の基礎知識

**洪水とは?**

大雨や融雪などを原因として、河川の流量が異常に増加することによって、川の水があふれる現象です。堤防の浸食や決壊、橋の流出等が起こることがあります。

大雨や融雪により川の水量が増える  
水量に耐えられなくなった堤防が決壊

平成21年7月 中国・九州北部豪雨

●川の水が急に濁りはじめる。流木が混ざりはじめる。  
●川の水位が急激に上昇し、あふれそうになる。  
●川の近くの水路・側溝があふれる。川の水位が上昇し水が流れなくなり内水氾濫がはじまる。

**危険**  
増水した河川は非常に危険です。絶対に近づかないでください。

**川があふれやすい・決壊しやすい箇所**

川があふれやすい・決壊しやすい箇所の特徴は、河道の屈曲部(川のカーブがきつ箇所)、川の合流点付近、川幅が狭くなっているところ(狭さく部)、水門の設置箇所、橋・堰の上流、旧河川の締め切り箇所などが挙げられます。近隣にお住いの方は早めの避難を心がけましょう。

**アンダーパスや地下道に注意しましょう**

アンダーパスとは、鉄道や他の道路の下をくぐるために、周辺の地面より低く掘り下げられた道路のことです。冠水しやすいので、迂回経路を確認しておきましょう。

地図上(裏面)のマーク

国道2号線下のアンダーパス(古狭東)  
国道2号線下の地下道(防府9)

# 災害に備える

**防府市の情報伝達手段**

防府市では、災害時や緊急時に主に以下の方法で情報を発信しています。メールやSNSなどは事前登録が必要です。

**防災行政無線**  
屋外スピーカー・戸別受信機  
避難情報、アラートなど緊急を要する事象について、サイレンや音声で一斉にお知らせします。

▼放送内容が聞かないときは電話(無料)で確認▼

**防災行政無線テレホンサービス**  
0800-200-2446 IP電話不可  
0800-200-2447 IP電話対応

**防府市緊急告知防災ラジオ**  
家庭に設置して自動受信  
災害時などの緊急時に、電源さえあれば「FMわっしょい」の電波などを利用して、防災行政無線の放送を自動受信するラジオです。

**防府市LINE**  
友だち登録で情報を受信  
災害時の重要な情報を登録者全員にメッセージ配信します。また、防災情報だけでなく、暮らしに便利な情報も配信しています。

**防府市ホームページ**  
パソコン・スマートフォンからアクセス  
避難情報や避難場所開設情報など、緊急時の情報をホームページ上に掲載しています。

**防府市メールサービス**  
メールアドレスを事前に登録  
気象情報や避難情報などの情報を配信します。

**テレビのdボタン**  
NHK総合、KRY山口放送、YAB山口朝日放送、TYSテレビ山口を表示し、リモコンの「dボタン」を押すと、防災に関する情報や気象情報、市から発信する避難情報、避難場所開設情報などの情報をいち早く見ることができます。

**FMわっしょい**  
77.3MHz  
防府市と協定を結んでいます。状況に応じて、災害情報や避難情報を放送します。

**山口ケーブルテレビ**  
12ch  
ケーブルテレビのアプリ「JC-Smart」でもお知らせします。  
防府市と協定を結んでいます。緊急時はデータ放送、L字放送を活用し、避難情報や防災情報を発信します。

**非常持出品を準備しましょう**

急な避難に対応できるよう、非常持出品は家族構成を考えて必要なものを準備しておきましょう。準備の際は以下の点に注意しましょう。

- 離ればなれになったときのために、荷物は各自のリュックに分けて準備しましょう。
- 非常持出品を入れる袋は、体に合った大きさを留意し、自分で背負うことのできる重さにしましょう。

**食料・飲料水**

- 飲料水
- 乾パン・クラッカー・缶詰など
- 火を渡さないでも使われるもの
- 乳幼児用の食料・おやつ

**救急・安全関係**

- ヘルメット(防災ずきん)
- 救急医療品(包帯、ガーゼ、絆創膏など)
- 常備薬・お薬手帳
- ホイッスル
- 体温計

**貴重品**

- 財布(現金) □通帳・印鑑
- 健康保険証 □身分証(免許証)
- クレジットカード類

**日用品**

- 携帯電話(充電器・バッテリー)
- 毛布・タオル □ラップ
- ティッシュ □ビニール袋
- ライター・ろうそく
- 懐中電灯 □携帯ラジオ

**衣類品**

- 下着・靴下 □手袋・軍手
- 長袖上着 □防寒着
- 雨カッパ・雨具 など

**その他**

- メガネ・老眼鏡
- 感染症対策用品(マスク・消毒液)
- 生理用品
- 紙おむつ
- 携帯トイレ など

**日ごろから携帯しておく便利なもの**

- 携帯電話
- 充電器(モバイルバッテリー)
- 小型ライト(キーホルダータイプなど)
- 身分証

などは日頃から携帯しておく緊急時に役立ちます

**避難時の注意事項**

**屋外の状況を確認**

- 雨の降り方の確認
- 避難先・避難場所開設情報の確認
- 道路状況確認

状況を確認して、浸水する前に避難を開始しましょう。

**避難の準備**

- 非常持出品の最終確認
- 動きやすい服装
- 運動靴を準備

長靴は水が入ると歩きづらくなるため、履き替えた運動靴を着用しましょう。

**家を空ける準備**

- 火元の確認
- ブレーカーをオフ
- 戸締り

**安全を確保したら連絡を**

- 家族へ居場所を連絡
- 自治会の連絡網などで報告

**歩いて避難**

- 車両での避難は控える
- 浸水箇所はできるだけ迂回

浸水時の車両避難は、車両故障や、緊急車両の妨げになります。

**複数人で避難**

- 誰かと一緒に避難
- 要配慮者へも気配りを

周囲の人と声をかけあって複数人で避難しましょう。

# 要配慮者利用施設

要配慮者利用施設とは、高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦など防災上の配慮が必要な人(要配慮者)が主に利用する施設のごとで、社会福祉施設、学校、医療施設などが対象となります。

**浸水想定区域内の要配慮者施設一覧**

浸水想定区域内の要配慮者利用施設の位置情報を、地図面(裏面)に掲載しています。

1 地図上(裏面)のマーク  
■の中の番号と一覧表の番号がリンクしています。

No	施設名称	位置	No	施設名称	位置
1	小野小学校	C2	6	ライフケア高砂デイサービスセンター	B3
2	小野留守家庭児童学級	C2	7	特別養護老人ホーム ライフケア高砂	B3
3	ケアビレッジスワン	C3	8	デイサービスセンター なんでん	B4
4	にじいろヘルパーステーション	C3	9	心促福祉作業センター	B4
5	ライフハス高砂	B3	10	防府海北園 上河原ホームあおぞら	B4

**【参考】防府市が公開している各種防災マップ/防災必携**

洪水編 佐波川(上流・下流)  
洪水編 柳川・馬刀川  
土砂災害編  
高潮編  
防災必携

地震編  
津波編

**デジタルハザードマップ**

インターネットを通じて、防府市の地図情報を閲覧できる地図情報システムです。パソコン、タブレット、スマートフォンでご利用いただけます。